

# 防災塾

No.20

## 災害時、「助けられる人、お客様」に成らないで!!

今回の防災塾は、毎年行っている「全街区一斉避難訓練」についてです。(今年は、10月23日に実施しました)

災害対応の出発点は、  
「平時において災害をリアルにイメージする」です。

この避難訓練の目的は、地震が起きた時の各自の行動（自助）と、住民が集まって1人1人が互いに協力し合いながら、防災に組織的に取り組む活動（共助）を学ぶ事です。



GPの総住民は 約3,500人 / 1,612戸  
 今回の訓練に参加した住民は、1,006人 (586戸)  
 ⇒ **住民の2/3以上が不参加だった!!**

**訓練への不参加 / 地震への無関心は**

⇒ **災害をイメージ出来ない。  
 リスクに対応できない人になる。**

災害時、ケガをした助けてくれ / 何処へ行けばいいんだ / トイレは何処に有るんだ / 水・食食物は誰がくれるんだ等を求め

**「助けられる人、お客様」は ⇒ 避難を混乱させる。**

「助けられる人、お客様」に成らないように、  
**次回(来年)の訓練には全戸から1人以上の参加を!!**

防災士 竹内 一三 記

毎回、3街区にお住まいの防災士 竹内一三様から貴重な情報を頂いております。